

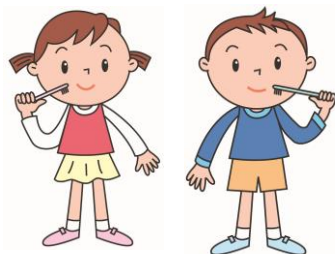
自閉症の子どものための やさしい歯みがき指導

やさしい仕上げみがきについて

●この資料のねらい

**ついつい、怖い顔で始めてしまう仕上げみがき。
本当は気持ちいいはずなのに・・・**

仕上げみがきは、むし歯や歯肉の病気を予防するためだけでなく、子どもが歯みがきを好きになるためにも大切です。やさしい仕上げみがきのために、この資料を参考にしていただければ幸いです。



制作・著作 : 一般財団法人サンスター財団

●やさしい仕上げみがきを始める前に

①お口を触られることから慣れていきましょう。

●ほっぺのマッサージ



●唇も優しくつまんで



●お口の中もやさしく触って



③子どもの口が、良くみえる体位でみがきましょう。

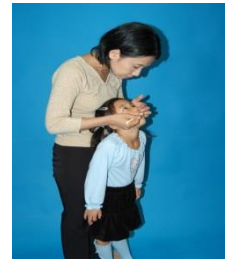


母子ともに負担のかからない体位を選びましょう。

●寝かせみがき



●椅子を使って



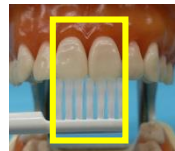
●前に立たせて

②ハブラシを嫌がる時は、ガーゼやめん棒、歯拭シートで歯の表面を拭きましょう。



注)
奥の歯のかみあわせの溝などは、歯を拭くだけでは汚れを落とすことができません。

●ハブラシの大きさ



前歯2本と同じくらいか、やや小さめのものを選びましょう。
仕上げ用のブラシは、小さめのものがよいでしょう。

●ブラッシングの力

左図のように毛先がしなっているのは力の入れすぎです。歯の汚れは柔らかいものですので、力を入れて磨く必要はありません。



●やさしい仕上げみがきの方法

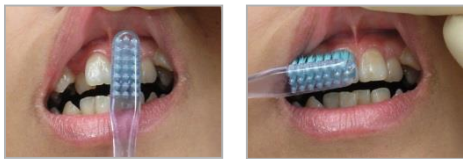


●上の前歯



いたい

○にブラシが当たる。



○に当たらないようにハブラシを、縦や横にして、汚れの残りやすい歯と歯肉の境目までブラシを当てます。



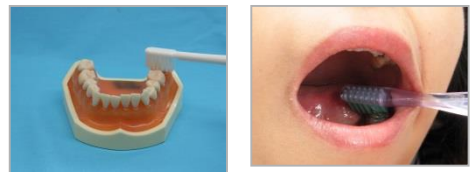
歯肉に炎症がある時など、ブラシの先が歯肉に当たって痛がるときは、ハブラシを逆さにして磨く方法もあります。

●下の奥歯のかみあわせ



いたい
きもち悪い

×ハブラシを奥まで入れすぎ



ハブラシを少し斜めから入れます。

●下の前歯の裏側



×ハブラシを深く入れすぎ



歯の長さをよく確認して、歯と歯肉の境目まで、ブラシを入れ、細かくブラシを動かします。